

第20回 医療の質・安全学会学術集会



シンポジウム8

医療者と法曹による臨床倫理相談事例の検討 — 家族による「代諾」問題に挑む —

医療行為に関する同意は患者本人が行うことが大原則ですが、しばしば医療者は家族等に「代諾」を求めてしまいます。しかし、「代諾」には法的・倫理的問題があります。本シンポジウムでは、医療同意能力が専門の精神科教授、医療安全管理部門の責任者である医師、医療法務弁護士の三者間でこの問題について検討を行います。

- 医療における同意能力の判断基準はどのようなものか。
- 家族等による「代諾」について医療現場で共通理解はあるのか。
- 患者の意思推定プロセスについて医療機関は何を留意すべきか。

サステイナブルな質の改善と患者安全

